



1948-1954

駅から校門まで11分 健脚を競ったあの頃。



昭和7年9月18日 六甲高校蹴球部メンバー。後列、左より、補欠 津川（1年）、LW鈴木（3年）、L I門田（3年）、部長 ブフレル、CF仲村（2年）、R I西澤（2年）、RW岩間（1年）、中列、左より、LH山田（1年）、CH立花（3年）、RH長井（2年）、前列、左より、LF門脇（2年）、GK神田（2年）、RF木下（2年）

国体予戦

- 一回戦 六甲1 (0-0) 0須磨
(1-0)
- 二回戦 六甲3 (1-1) 1西脇
(2-0)
- 三回戦 六甲2 (0-2) 5夢ノ台
(2-3)

メンバー

- 補欠 津川（1年）
- LW 鈴木（3年）
- L I 門田（3年）
- 部長 ブフレル
- CF 仲村（2年）

- R I 西澤（2年）
- RW 岩間（1年）
- LH 山田（1年）
- CH 立花（3年）
- RH 長井（2年）
- LF 門脇（2年）
- GK 神田（2年）
- RF 木下（2年）

とかフルバックと称しフォーメーションも現在とは隔世の感がある。ただ1回戦対須磨高校の1点は右センターリングを仲村君が強烈なボレーシュートで決めたのを覚えている。毎朝阪急六甲駅から駆け出し校門まで11分前後で登校時間を競っていた健脚の昔がなつかしい。

[西澤 宏]

50周年記念誌の原稿を依頼され困った。40年前の手掛かりを求めアルバムを探していると、出て来たのが上の一葉である。裏面にメモがあるので間違いはないと思う。当時サッカーは蹴球、バレーは排球、バスケットは籠球と言っていたので、ポジションもインナー

